

令和3年度 事業報告書
令和3年4月1日 から令和4年3月31日まで
特定非営利活動法人 子育てネットワーク・ピッコロ

【1】事業の成果

1. 子育て支援のために行う一時保育事業

(1)ピッコロの保育では、コロナ禍の影響で個人保育の件数は減少したものの、依頼に対しては安全チェックリストを活用し予防対策に努め、断ることなく支援することができた。

(2)小規模保育室ピッコロルームでは、季節の野菜を用いて食育を行った。栽培・毎日の観察・収穫作業を通し食材に興味をもち、食べることの楽しみに繋げていった。

(3)学童クラブでは、毎月3学童の主任との話し合いを持ち意見交換をしながら良い育成ができた。夏休みには地域の学生がボランティアやアルバイトに入ってくれた。

2. 子どもと大人のネットワーク作り事業

(1)K-netでは、ジュニアサポーター養成講座に多くの応募があり、小中学生と親子がふれ合う貴重な体験の場になった。コロナ感染対策として人数の分散化を図った。

(2)つどいの広場受託事業では、集まりやイベントが中止になる中、また緊急事態宣言が発令されている中でも、ひろばが開いていて助かったという声が多かった。

3. 子育てをサポートする人材育成・研修事業 子どもが輝く応援事業に取り組んでいる。家庭訪問型支援に特化したヒヤリ・ハットの検証をもとに、支援者を対象にモデル研修を作りあげ構築に協力していただいた。また、支援者としての資質の向上に繋がった。

4. ファミリー・サポート・センター事業

(1)ファミリー・サポートきよせでは、感染予防グッズや消毒用品等ポーチにまとめ支援する提供会員に配布し役立ててもらった。手引きとパンフレットの内容を更新し増刷した。

(2)女子医大・東京医大ファミリー・サポートでは、オンライン研修会開催に向け実態把握の際「インターネット環境アンケート」を提供会員へお願いしたが、環境不備が多かった。

(3)DDユニットファミリーサポートでは、大学と連携の強化を図り、事業の広報活動への協力を深めた。

(4)介護サポート・ピッコロでは、8月くらいからようやくケアマネから問い合わせが入り、9月に新規の依頼会員の申し込みがあった。毎週1~2回定期的に利用が開始された。

(5)東京女子医科大学・介護サポートでは、11月に委託契約を結び、令和4年度からの事業実施に向け2月提供会員講習会にて人材育成と事業体制構築に取り組んだ。

5. 家庭訪問型子育て支援事業

(1)養育支援訪問事業では、コロナ禍により里帰り出産や親族に頼れない利用者の産前産後支援が増えた。退院後の利用で沐浴と食事づくりの依頼には要望に沿ってできた。

(2)ひとり親支援では、父子家庭利用は2家庭で毎月12回利用。色々な事情はあるが支援者の理解と協力を得て、滞ることなく支援を継続できた。

(3)ホームビジター派遣事業では、報告会や子育て講演会時には保育付きで行い個々の状況に合わせて参加できるよう配慮、それぞれの学びの機会を提供できた。

6. 子どもの育成を支援する事業

赤ちゃんのチカラプロジェクトでは、コロナ禍により例年通りの実施はできなかったが、代替えとして赤ちゃんの誕生から幼児期までの成長記録を動画にまとめ、親子によるビデオメッセージを含め11分動画を提供した。また、ピッコロスタッフによるボードメッセージをパンフレットにして各中学校に配布した。

7. 本会の目的を達成する事業

ピッコロでは、コロナ禍に自主事業として「ピッコロ特別な支援」と称しSOSを発信する家庭にいち早く手を差し伸べた。また、支援物資の配布など起動力を発揮した。日本財団・東京都の助成金事業では、研修で使用する映像の撮影・編集をしてモデル研修を実施した。また、清瀬市子どもの見守り強化アクション事業を通し、自団体の強味を活かし、特に学生による学習支援では塾に通えないお子さんや不登校のお子さんの成績がアップしたとの声が聞けた。

【2】事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
子育て支援のために行う一時保育事業	ピッコロの保育サービス事業(個人・団体)	依頼日 依頼時間	利用者宅/支援者宅 団体保育場所	延べ 1,800人	子育て中の大人と子ども 約3,600人	8,083
	小規模保育室	月~金 7:30~19:00	ピッコロルーム保育室	延べ 1,237人	子ども2,100人とその保護者	31,475
	学童クラブ	学校登校日	梅園学童・清明小学 四小学童	延べ 1,200人	対象児童とその保護者 約36,000人	108,335
子どもと大人のネットワーク作り事業	k-net 子育てひろば	毎月第2金曜日及び 4・5・6・7・8・9・ 10・11・12・1・2・3月 1回~2回 年間15回	清瀬市男女共同参画センター	延べ 120人	子育て中の大人と子ども 約720人	1,400
	中里ひろば	年4回第3水曜日 10:00~12:00	中里地域市民センター	延べ 8人	子育て中の大人と子ども 約40人	
	リフレッシュ講座	年8回 10:00~12:00	消費生活センター 児童センター	延べ 100人	子育て中の大人と子ども 約200人	
	ジュニアサポーター養成講座	7月29日14:00~15:30 7月30日10:30~12:00 8月6日10:30~12:00 7月30日~8月25日	k-netひろば	延べ 30人	小中高生 42人	
	子育てサポータースキルアップ講座	1月13日10:00~12:00 1月20日10:00~12:00 1月22日10:00~12:00 13:00~15:00	アイレック ひまわり	延べ 12人	子育て支援者 80人	

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
	清瀬市つどいのひろば受託事業	毎週6日 10:00～15:00	けやきホール子育て支援室・竹丘地域センター	延べ 1,200人	子育て中の大人と子ども 約12,000人	9,059
子育てをサポートする人材育成研修事業	訪問保育支援者研修会	2月23日 2月27日	男女協働参画センター	延べ 12人	支援者 50人	0
ファミリー・サポートセンター事業	ファミリーサポートセンター受託事業	依頼日7:00～22:00のうち依頼時間	利用者宅 支援者宅	延べ 2,137人	子育て中の大人と子ども 約4,500人	15,332
	家族まるごと支援事業・介護サポート	依頼日 1月14日・1月17日 13:00～16:00	利用者宅 けやきホール第3会議室 消費生活センター	延べ 16人	依頼会員と提供会員 約350人 支援者20人	172
	東京医大女性研究者支援事業・東京女子医大ファミリーサポート連携プログラム事業(文部科学省人材育成費補助事業として、両大学の子育て中の女性職員への子育て支援)	依頼日 7:00～22:00のうち 依頼時間	利用者宅	延べ 2,528人	子育て中の大人と子ども 約5,500人	8,481
	DDユニットファミリーサポート事業東京医科歯科大学・順天堂大学・(株)ニッピバイオマトリックス研究所に在籍する女性研究者を対象に仕事と家庭の両立するための子育て支援	依頼日 7:00～22:00のうち 依頼時間	利用者宅	延べ 470人	子育て中の大人と子ども 約2,200人	4,578
	東京女子医科大学・介護サポート 会員制による相互援助活動	2月18日・2月25日 13:00～15:00	ルーテル市ヶ谷センター	延べ 10人	ファミサポ提供会員 地域住民 約20人	8,774
家庭訪問型子育て支援事業	養育支援ヘルパー受託事業	依頼日 日祝日以外 依頼時間	利用者宅	延べ 288人	育児支援申込者大人と子ども 約900人	180
	ひとり親家庭ホームヘルプサービス受託事業	依頼日 随時 依頼時間 7:00～22:00	利用者宅	延べ 1,211人	ひとり親家庭申込者大人と子ども 約2,500人	1,734
	清瀬市ホームビジター派遣事業(支援者が訪問し、保護者と共にボランティアで子育てを支援する)	依頼日 依頼時間	利用者宅	延べ 80人	子育て中の大人と子ども 約300人	2,200
子どもの成育を支援する事業	清瀬市教育委員会委託事業「赤ちゃんのチカラプロジェクト」事業(中学3年生の授業に出向き赤ちゃんに触れあい命の大切さを学ぶ)	コロナ禍で中止 (別案でSNS発信とチラシ提供)	清瀬市内中学校5校19 学級	延べ 10人	子育て中の親子・当団体スタッフ 約50人	498
本会の目的を達成する事業	子供が輝く東京・応援事業(訪問型子育て支援ヒヤリ・ハット検証と実践ツール作成)	10月1日～3月31日 依頼日	清瀬市内・近隣市利用者宅 公共施設	延べ 100人	妊娠・出産・育児期親子支援者・専門家 約60人	3,502
	日本財団助成事業(新型コロナウイルス感染症に伴う社会活動支援)	10月20日～3月31日 依頼日	清瀬市・近隣市利用者宅 オンライン	延べ 10人	ウェブサイトからの申込み親子 問い合わせ家庭 約30人	1,266
	「清瀬市子どもの見守り強化アクションプラン」事業(食事提供・学習、生活支援をする)	6月1日～3月31日 依頼日	清瀬市内利用者宅 公共施設	延べ 252人	緊急的に見守り支援が必要な家庭 約140人	9,783
2. その他の事業						
なし						